

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

東京都港区海岸1-11-1
ニューピア竹芝ノースタワー17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 坂 慎 義 夫

令和5年10月3日

1. 名称	ラクビス・ダイバー II L=85 (継手補強)
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱材及び横架材端部接合部(継手型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	1) 接合金物(接合具) 「ラクビス・ダイバー II L=85」 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.15~0.23%, Mn;0.60~1.00%, P;0.030%以下, S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ12.5mm~13.5mm 胴部径φ3.9mm 1条ねじ部：ねじ山径φ4.9mm ねじ谷径φ3.8mm ねじピッチ2.8mm L=10mm 2条ねじ部：ねじ山径φ5.5mm ねじ谷径φ3.2mm ねじピッチ5.6mm L=35mm 全長L=85mm 表面处理：エコート ^{*1} WH処理 2) 軸組材料 横架材(上側)：90mm×90mm×450mm 無等級製材 スギ 含水率：7.0~8.5% 全乾密度：0.41~0.46g/cm ³ 横架材(下側)：90mm×90mm×450mm 無等級製材 スギ 含水率：7.0~9.0% 全乾密度：0.44~0.49g/cm ³ <small>*1 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</small>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 また、加力時に横架材の横倒れを防止するためのサポート治具を設けた。 加力は横架材(上下)の孔へM12ボルトを、各々4本介し加力した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 2.5 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和5年9月5日、7日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健 石田 恵菜

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。